

## 喫煙に関する諸問題について

(質問) たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の発効を受け、厚生労働省は、「受動喫煙が死亡、疾病及び障害を引き起こすことが科学的証拠により明白に証明されている」との認識に立ち、「多数の者が利用する公共的な空間は原則的に全面禁煙であるべき」、「屋外であっても子供の利用が想定される公共的な空間では、受動喫煙防止のための配慮が必要」、「少なくとも官公庁や医療施設

設においては全面禁煙とすること」という内容の通知を発表した(H22.2.25)。鈴鹿市は過去の認識を改め、市が管理する施設の敷地や施設内を全面禁煙にすべきである。

(答弁) 庁舎敷地は今年度中に、他施設の敷地は段階的に灰皿を削減するよう全庁的に協議する。庁舎内の喫煙所は1・13・15階を除き来年度から段階的に削減する。全面禁煙は状況を見ながら検討する。

その他の質問 ・職員の意識改革について

## 行政サービスのコスト等の表示

(質問) 鈴鹿市も道路工事説明看板への工事費用の記載を手始めに、学校建設工事、復旧工事等の公共工事、印刷刊行物、イベント、その他の行政サービスのコスト等を順次市民に発信することで、市民の納税意識、事業施行する行政側の責任と無駄を省くコスト意識の向上につながると考えるが、いかがか。

(答弁) 現在、行政評価において職員の事業への取組みに対する目標達成状況、事業のあり方、課題解消への取組み、事業の方向性、実施に要するコストをチェックしている。更にコスト表示をするのは、これと重複することが懸念される。またコストのみに着目すると事業の必要性等の本質を見失い、目的達成に影響が生じることもある。対象とする事業や表示方法、費用対効果、行政評価との役割分担等充分な検討が必要と考えている。

その他の質問 ・堤防道路の安全対策

## 応急診療所について

(質問) 応急診療所及び一次救急輪番体制病院の受診者数の状況はどうか。また、高齢社会における医療体制を確立するため、南部地域へ第2の応急診療所を設置する考えはないか。

(答弁) 平成24年度の応急診療所受診者数は9,827人、平成21年度以降、年間約1万人が受診している状況。塩川・高木・村瀬の3病院が一次救急輪

番体制を整え、かかりつけ医や応急診療所で対応困難な軽症救急患者の医療を確保し、二次救急医療機関への負担を軽減させており、3病院の平成24年度受診者数は1,297人。限られた医療資源により救急医療体制が維持されている状況であり、鈴鹿市医師会等、医療機関との連携を図りながら体制の維持に努めていきたい。

その他の質問 ・軌道下の老朽水道管の更新について



応急診療所

## 2・3月の会議日程 ※日程は変更される場合があります。

2月	20日	木	10:00	本会議(開会)
	21日	金	14:00	議会運営委員会
3月	3日	月	10:00	本会議(質疑)
	4日	火	10:00	本会議(代表質問)
	5日～10日	水～月	10:00	本会議(一般質問)(8・9日休会)
	7日	金		議会運営委員会(本会議終了後)、各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	10日	月		予算決算委員会(本会議終了後)
	12日	水	10:00	文教環境委員会(分科会)・産業建設委員会(分科会)
	13日	木	10:00	総務委員会(分科会)・生活福祉委員会(分科会)
	14日	金	13:00	文教環境委員会(分科会)・産業建設委員会(分科会)
	17日	月	10:00	総務委員会(分科会)・生活福祉委員会(分科会)
	20日	木	13:00	予算決算委員会
	24日	月	10:00	議会運営委員会、各派代表者会議(議会運営委員会終了後)、広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	25日	火	10:00	本会議(閉会)・全員協議会(本会議終了後)、議会だより編集会議(全員協議会終了後)